

正誤表・更新情報

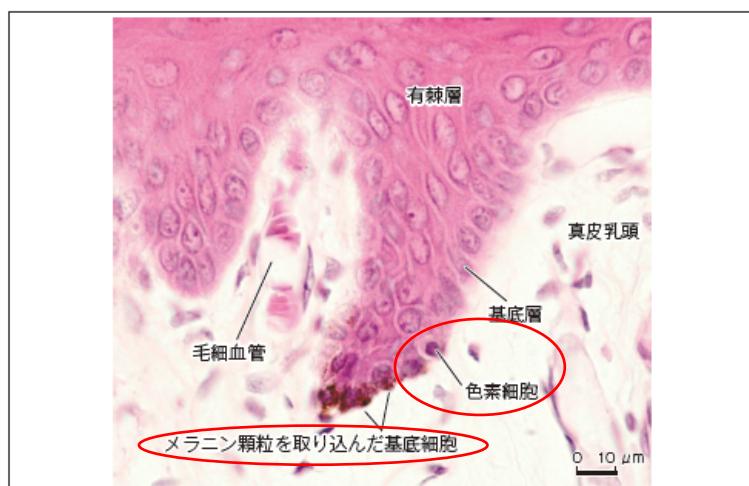
本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2025年7月4日）

■第2版 第1刷（2025年2月15日発行）の修正・更新箇所

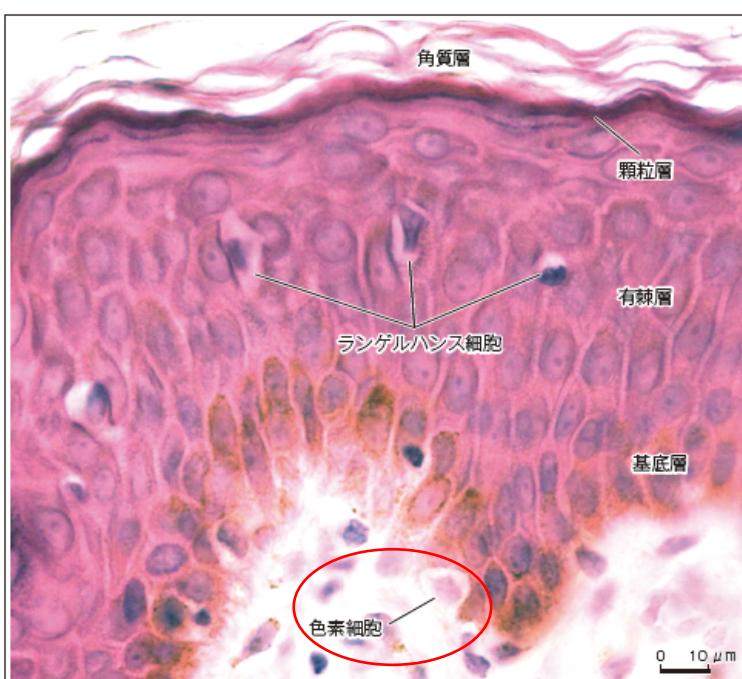
頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第9章					
205	5~7行目	暑いときは平滑筋を収縮させて吻合部を閉じ、毛細血管に向かう血流量を増やして体の熱を外に放散させる。寒いときはその逆で、吻合部を開いて毛細血管に流れる血流を減らす。	体温が上昇すると、吻合部の開閉を制御して体表の毛細血管や表在静脈に流れる血流を増加させる。それと同時に、表在静脈も拡張させる。その結果、体表の血管から放射される熱量が増加して体温が下がる。また、寒い環境にさらされたときにはその逆のしきみが働く。	より正確な内容にするため変更	25/02/28
第16章					
431	2~6行目	神経堤細胞に由来する色素細胞は基底層に分布してメラニン顆粒を産生し、そのメラニン顆粒を含んだ細胞突起を有棘層まで伸ばしている。有棘細胞はその細胞突起を貪食して細胞内にメラニン顆粒を取り込む。その結果、メラニン顆粒を取り込んだ有棘細胞が紫外線からの皮膚の保護や紫外線の作用により発生する活性酸素の吸収などを行っている。写真は指先の皮膚の色素細胞を示す。	神経堤細胞に由来する色素細胞は基底層に分布してメラニン顆粒を産生する。そのメラニン顆粒は色素細胞から伸びる樹状突起に送られる。基底細胞や有棘細胞がその突起を貪食することにより、それらの細胞内にメラニン顆粒が取り込まれる。細胞内に取り込まれたメラニン顆粒は紫外線からの皮膚の保護や、細胞内に生じた有害な活性酸素の除去などを行う。 色素細胞で産生されたメラニン顆粒は樹状突起に送られるので、色素細胞の細胞体にはメラニン顆粒が乏しく、その細胞質が透けて見える。写真は指先の皮膚の色素細胞を示す。		25/07/04
431	写真		※1参照		25/07/04
433	写真		※2参照		25/07/04
第17章					
488	写真		※3参照		25/07/04

図表

※1 赤丸部分を修正ください(「色素細胞」を「メラニン顆粒を取り込んだ基底細胞」に変更、「色素細胞」と指示線を新たに追加)



※2 赤丸部分を修正ください(「色素細胞」が示す細胞を変更)



※3 赤丸部分を削除ください(「色素細胞」とその指示線を削除)

